

平成 30 年度複式・少人数指導に係る研修会

平成 30 年 6 月 25 日（月） 庄原市立口北小学校

複式授業や少人数指導における指導の在り方を研修することを通して、児童生徒が主体的に学び合う学習を目指した授業改善を図ることを目的に、研修会を行いました。

【公開授業】「第 5・6 学年 算数科」

授業者 庄原市立口北小学校 教諭 関元 千花子



◆ 第 5 学年「式と計算」

本時の目標：個数の求め方をいろいろに考えて式に表し、式と図を結びつけて説明することができる。

◆ 第 6 学年「円の面積」

本時の目標：複雑な形をした図形の面積の求め方を考え、式と図を結びつけて求めることができる。

【研究協議】「主体的に学び合う学習を目指した授業改善に向けて」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 小谷 綾子



◆ 公開授業をもとに、複式・少人数指導における授業の充実について研究協議を行った。

- ・学年段階に応じた指導や支援を行う。(低学年段階ではリーダーノートの活用や学習の流れの掲示，高学年段階では関わり合いのある学習スタイルの定着，等)
- ・児童が自ら進んで学習に取り組めるよう，課題提示など導入を工夫する。

◇ 間接指導につなげる直接指導の充実

- ・授業の導入で直接指導をし，課題を明確にするとともに，解決や話し合いの見通しをもたせる。

◇ 学習リーダー，フォロワーの計画的育成

- ・低学年段階は自分たちで学び合う基礎づくりが重要である。
- ・学習リーダー等の育成は，校内で組織的・計画に取り組む。

◇ 小中連携の充実

- ・小学校では，卒業までに身に付けさせる力を明確にし，指導する。
- ・中学校では，グループ活動において学習リーダーに進行させる等，少人数指導を生かした授業づくりを行う。

【参加者の振り返りより】

- ・低学年のときからの学習規律の積み上げや，お互いが関わり合い，分からないことが出せる学習集団づくりが土台となると感じた。
- ・本時に何を学ぶのかを明確にし，課題意識をもたせることが大切だと分かった。
- ・中学校におけるグループ学習においても，学習リーダーの役割を再確認し，組織的に指導していきたい。